

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 17 年 12 月 19 日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	シスタチン C
検査コード	6161
検体量	血清 0.3 ml
容器・保存	A1 A2 ・ 冷蔵
実施料 (判断料)	130 点 (生化 )
所要日数	1 ~ 2 日
検査方法	金コロイド凝集法
基準値	0.56 ~ 0.95 mg / l

保険収載名称：シスタチン C 精密測定

保険注釈：シスタチン C 精密測定は、尿素窒素 (BUN) 又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3 月に 1 回に限り算定できる。ただし、肝及び腎のクリアランステスト (尿素又はクレアチニンをを用いたクリアランステストに限る。) を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

《 解 説 》

糸球体濾過量 (GFR) を知る新しいマーカーとして近年注目されているシスタチン C は体内のあらゆる有核細胞で産生され、これをコードする遺伝子およびプロモーターが house-keeping 型であることから細胞内外での環境変化にほとんど影響されず常に一定の割合で産生分泌されます。分子量は 13kDa の塩基性低分子蛋白であり結合蛋白を有しないので短時間のうちに低分子のまま糸球体から濾しだされ、そのほとんどが近位尿細管で再吸収を受け、異化されるため血中再循環はありません。よって、GFR が少しでも低下すると血清中のシスタチン C 濃度は上昇し、年齢、筋肉量、運動、食事などの影響も受けなため腎機能の有用な指標として期待されています。